

総務環境委員会説明資料

「愛知・名古屋 戦争に関する資料館」について

平成27年6月29日

総務局

目 次

- 1 「愛知・名古屋 戦争に関する資料館」について…………… 1頁
- 2 展示について…………… 3頁
- 3 愛知県庁大津橋分室の外観について…………… 6頁

1 「愛知・名古屋 戦争に関する資料館」について

(1) 経緯

年 月	内 容
平成 6年 3月	愛知県議会で「戦争メモリアルセンター（仮称）の建設について」の請願が全会一致で採択
平成 7年 1月	名古屋市議会で「戦争メモリアルセンター（仮称）の建設を求める件」を始め 3 件の請願が全会一致で採択（財政勘案）
平成 8年 12月	平成 7年 9月に愛知県及び名古屋市が設置した「戦争に関する資料館調査検討委員会」において、戦争に関する資料館の設置に向けた基礎調査及び基本理念等についての検討結果を取りまとめ
平成 9年 7月	戦争に関する資料館の設置に関する計画、事業内容、資料の収集・保存に関することを調査・検討するため、「戦争に関する資料館調査会」を愛知県及び名古屋市が設置（平成 27年 4月に「戦争に関する資料館運営協議会」に改組）
平成 11年 3月	平成 9年 8月に愛知県及び名古屋市が設置した「戦争に関する資料館検討委員会」において、戦争に関する資料館の具体的な施設像等についての検討結果を取りまとめ
平成 12年 9月～	「インターネット戦争資料展」を開始し、収蔵資料の画像等を公開
平成 15年 7月～	「収蔵資料展」を開始し、収蔵資料を公開

(2) 概要

区 分	内 容
名 称	愛知・名古屋 戦争に関する資料館
目 的	戦争に関する実物資料の展示を行うことにより、戦争体験を次の世代に引き継ぎ、戦争の残した教訓や平和の大切さを県民が学ぶことにより、平和を希求する豊かな心を育み、平和な社会の発展に寄与することを目的とする。
開 設	・平成27年7月10日(金) オープニングセレモニー ・平成27年7月11日(土)～ 一般公開
場 所	愛知県庁大津橋分室1階
利 用 時 間	午前10時から午後4時まで
休 館 日	・月曜日及び火曜日 ・12月29日から翌年1月3日まで
観 覧 料	無料
運 営 主 体	戦争に関する資料館運営協議会
資料館従事職員	・学芸員嘱託員 1名 ・事務嘱託員 1名 ・運営サポートボランティア 1名

(注) 平成27年度は、開館日から8月31日まで無休

2 展示について

(1) 考え方

- ・平成11年3月に「戦争に関する資料館検討委員会」から提出された報告書で示された施設の基本的性格、展示構成の考え方を踏まえたものとする。
- ・地域性を重視し、「戦争に関わる地域史」と「県民の戦争体験」を軸とした展示とする。
- ・当地域の戦争に関する具体的な資料を提示し、来館者自らが学び考えることができるような展示とする。
- ・戦争の体験を引き継いでいくために、平易な説明文を併記するなど、児童にもわかりやすい展示とする。

(2) 収蔵資料

- ・平成8年度より県民の方からの資料収集を開始し、平成26年度末において7,456点の資料を保管している。

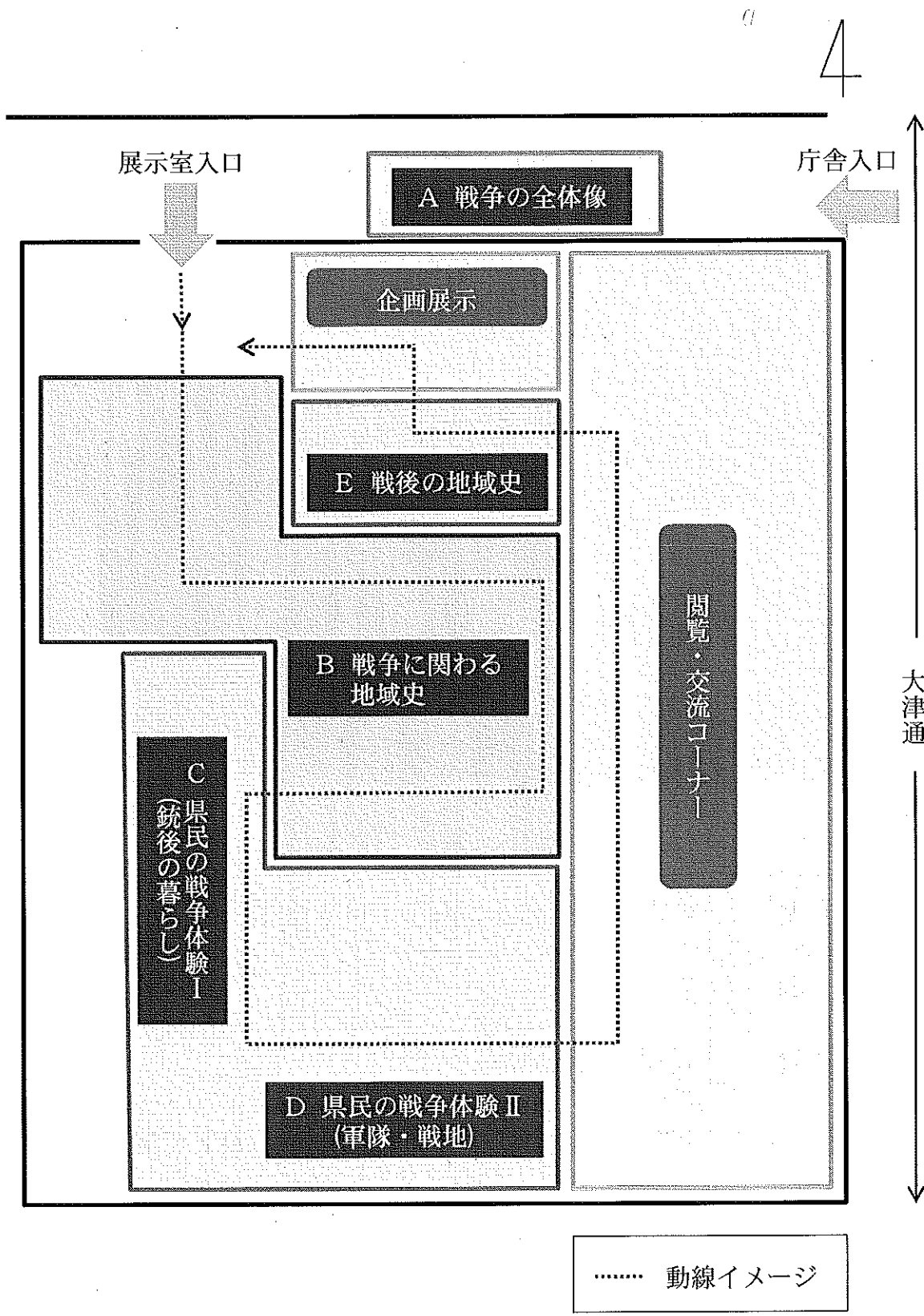
(3) 展示規模

- ・実物資料や文書、図書を中心に常時約200点の資料を展示する（展示面積143㎡）。
- ・定期的に展示物を入れ替えることにより、資料の有効活用を図る。

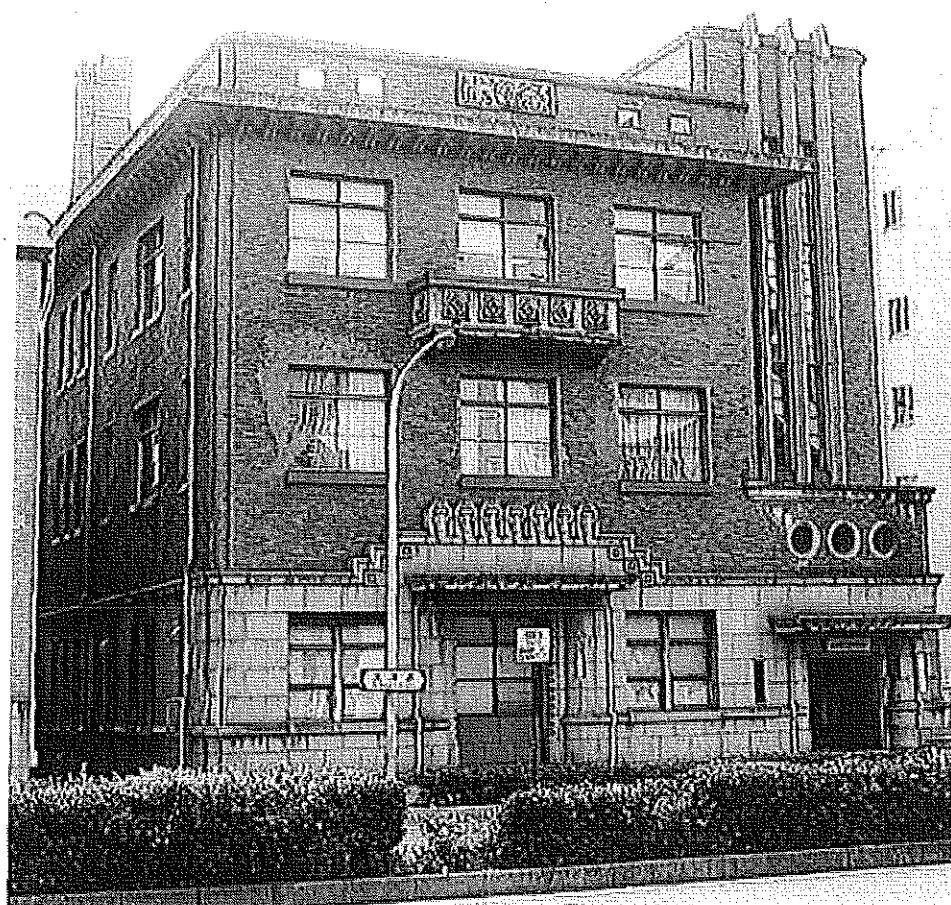
(4) 展示室の構成

区 分		内 容
常 設 展 示	戦争の全体像	太平洋戦争を中心に、年表を用いて全体の流れを紹介
	戦争に関わる地域史	戦前からの工業の発展を経て軍需産業集積地となった当地域が受けた空襲被害などを紹介
		(展示物) 250 kg爆弾、米軍散布のチラシ、防空頭巾、灯火管制電球、空襲で変形した瓶など
	県民の戦争体験Ⅰ (銃後の暮らし)	戦時下での人々の暮らしや学校での教育などを紹介
		(展示物) 国防婦人会徽章、衣料切符、感謝状(金集中運動)、学生勤労奉仕作業写真、学童疎開日記帳など
	県民の戦争体験Ⅱ (軍隊・戦地)	軍隊での生活や戦場での体験などを紹介
(展示物) 軍服・軍帽、召集令状、陣中日記、寄せ書き、慰問品など		
戦後の地域史	戦後混乱期の状況や地域の復興の様子などを紹介	
	(展示物) 引揚日記帳、帰郷証明書、死亡告知書、名古屋市焼失区域図、名古屋市復興都市計画図など	
企画展示	特定のテーマを設定した展示などを随時実施	
閲覧・交流コーナー	VTR視聴、書籍閲覧、交流・情報コーナーなどを設置	

(5) 展示室のイメージ



3 愛知県庁大津橋分室の外観について



所在地	名古屋市中区丸の内三丁目4番13号
土地	691.83 m ²
建物	1,400.18 m ²
構造等	鉄筋コンクリート造、地下1階・地上3階建て
建設年次	昭和8年